



2010年11月10日

報道関係各位

**ポルトガルコルク工業会 (APCOR)、新世代のコルクフロアを
ジャパンホームショー2010にて展示
ーコルクの着物も同時展示ー**

2010年11月10日東京ーポルトガルコルク工業会 (APCOR) は、日本におけるコルクフロア及び装飾材・内装材のキャンペーンの一環として、東京ビックサイトで11月17日(木)～19日(金)に開催される「ジャパンホームショー2010」に出展します。

APCOR ブースでは、新世代コルクフロアが持つ素晴らしい天然の特長、無限のデザインの可能性、他の追随を許さない環境への優しさなどが、スタイリッシュなデザインや環境への関心が高い、21世紀の日本の消費者に最適な床材である点に焦点を置いています。最新のコルクフロア、置き敷き工法やその他の技術的進歩を示すデモ実演に加え、コルクで作られた着物も展示します。

コルクは空気を含む無数の細胞からなるユニークな構造を持ち、ソフトで快適、保温性や耐久性に優れ、音や振動を防ぐだけでなく、断熱性も高い素材です。また、カビやダニ、シロアリも発生しにくいという特長を持っています。コルク樹皮から作られるコルクは、100%天然でリサイクル可能な素材です。木を伐採することなく、寿命が続く限り何度でも採取可能で100%持続可能な素材でもあります。最近では表面加工技術の発達により、色やパターンは無限大、耐久性も大きく向上し、快適性、耐久性、環境への優しさに加え、非常にデザイン性の高い素材ともなっています。

こうしたコルクの魅力を伝えるため、ポルトガルから APCOR 日本キャンペーン担当者も来日します。ブースでは、来場者の皆様にコルクフロアのソフトで快適な踏み心地を味わっていただける他、あらゆる好みに応える、多様な色やパターンのコルクフロアのサンプル展示をご覧いただけます。また、ウッドフロア、ラミネートフロアと、コルクフロアの防音性の比較や、接着剤を使わずに簡単に施工が可能な、第五世代の置き敷き工法のデモも実施いたします。第五世代の置き敷き工法のデモを日本で実施するのはこれが初めてです。

この他、今回の展示では、ポルトガルから取り寄せたコルク製の着物も展示します。これは、2005年愛知万博のために作成されたものです。また、コルク製のランプシェード、ウォールパネルなど、ブース各所にコルクが使われています。日本・ポルトガル修好通商条約が150周年を迎える中、日本とポルトガルの二つの文化の最高の集大成といえるコルクの着物は見逃せません。





2010年11月10日

APCOR は現在、新世代コルクフロアの新規販売代理店を募集中です。詳しくはジャパンホームショー2010のブースにお越しいただくか、ウェブサイト <http://naturalcork.jp> をご覧頂き、メールにてご連絡ください。apcorjapan@ashton.jp

APCOR のジャパンホームショー2010 のブースは1B-10(東1ホール)です。

